

コンクリート構造技術規準一性能創造による設計・施工・保全—正誤表

頁	章	行	修正前原稿部分	修正後原稿部分
61	5.2 解説	5	この <u>示方書</u> では	この <u>規準</u> では
61	5.2	12	定めるものとする	定めるものとする <u>。</u>
62	5.3 解説	15	設計作用の <u>組合せ</u>	設計作用の <u>組合せ</u>
66	5.4.2 解説 図 5.4.1	13	$\alpha$	$\underline{\alpha}$
67	5.4.2 解説	7 ~ 11	コロンが縦にそろっていない	
67	5.4.2 解説 図 5.4.2	20	セット後の緊張力が $P_l$	セット後の緊張力は $P_t$
68	5.4.2 解説	8 ~	凡例追加	$E_p$ : 緊張材のヤング係数
68	5.4.2 解説 (ii) ②	解 5.4.10 解 5.4.11	$\begin{aligned} & \{1 + a_{pp}(1 + \phi/2)\} \cdot \Delta \sigma_{p_{cs}} + a_{sp}(1 + \phi/2) \cdot \Delta \sigma_{s_{cs}} \\ & = n_p \cdot \{\phi(\sigma'_{cp_{st}} + \sigma'_{cds}) + E_c \cdot \varepsilon'_{cs}\} \quad (\text{解 5.4.10}) \\ & \{1 + a_{ps}(1 + \phi/2)\} \cdot \Delta \sigma_{p_{cs}} + a_{ss}(1 + \phi/2) \cdot \Delta \sigma_{s_{cs}} \\ & = n_s \cdot \{\phi(\sigma'_{cps} + \sigma'_{cds}) + E_c \cdot \varepsilon'_{cs}\} \quad (\text{解 5.4.11}) \end{aligned}$ <p>ただし、<math>a_{pp} = n_p \cdot A_p \cdot (1/A_c + e_p^2/I_c)</math>  <math>a_{ps} = n_s \cdot A_p \cdot (1/A_c + e_p e_s/I_c)</math>  <math>a_{sp} = n_p \cdot A_s \cdot (1/A_c + e_p e_s/I_c)</math>  <math>a_{ss} = n_s \cdot A_s \cdot (1/A_c + e_s^2/I_c)</math></p>	$\begin{aligned} &  1 + a_{pp}(1 + \phi/2)  \cdot \Delta \sigma_{p_{cs}} + a_{sp}(1 + \phi/2) \cdot \Delta \sigma_{s_{cs}} \\ & = n_p \cdot  \phi(\sigma'_{cp_{st}} + \sigma'_{cds}) + E_c \cdot \varepsilon'_{cs}  \\ & a_{ps}(1 + \phi/2) \cdot \Delta \sigma_{p_{cs}} +  1 + a_{ss}(1 + \phi/2)  \Delta \sigma_{s_{cs}} \\ & = n_s \cdot  \phi(\sigma'_{cps} + \sigma'_{cds}) + E_c \cdot \varepsilon'_{cs}  \end{aligned}$ <p>ただし、以下は同様</p>
69	5.4.2 解説	10	式 (解 5.4.12) の分母の $(1/A + e_{p+s}^2/I_c)$	式 (解 5.4.12) の分母の $(1/A + e_{p+s}^2/I_c)$
72	5.4.4(2)	1	構造物周辺の相対温度	構造物周辺の相対湿度
103	6.5.1(3)	下から 3	……曲げおよび押被せん断に対して……	……曲げおよび押抜せん断に対して……
146	資料編 事例 1	4	「解決策実現への課題」の 1 行目 既節構造物	既設構造物
146	資料編 事例 3	下から 9	「制約条件の解決策」の 14 行目 東海地震や割断層	東海地震や活断層
146	資料編 事例 3	下から 7	「制約条件の解決策」の 16 行目 斜材が劣化や破断に対して	斜材の劣化や破断に対して
162	資料編 事例 5	14	「性能創造の概要」の 2 行目 制約条件とその解決法方法	制約条件とその解決策
166	資料編 事例 7	9	「橋梁概要」の 7 行目 活荷重: A 活荷重	活荷重: B 活荷重
166	資料編 事例 7	14	「性能創造の概要」の 2 行目 制約条件とその解決法方法	制約条件とその解決策
167	資料編 事例 7	下から 12	「性能にかかわる要求事項とその照査」の 3 行目 • 供用性: 材令差のある……	• 供用性: 材齡差のある……
170	資料編 事例 9	9	「橋梁概要」の 7 行目 活荷重: A 活荷重	活荷重: B 活荷重
170	資料編 事例 9	14	「性能創造の概要」の 2 行目 制約条件とその解決法方法	制約条件とその解決策
奥付			コンクリート構造技術基準	コンクリート構造技術規準
奥付			Japan Prestressed Concrete Engineering Association, 2019	Japan Prestressed Concrete Institute, 2019